

## ■第3章の構成と各章との関連性について

第3章の構成と第1章との関係性を以下に示します。

第1章 市民と共に創るまちの姿（将来ビジョン）

2 都市づくり戦略



## 第3章 地域別構想

### 1 地域づくりの方針

- |          |           |
|----------|-----------|
| (1) 北部地域 | (4) 南部地域  |
| (2) 丘陵地域 | (5) 中心市街地 |
| (3) 中央地域 |           |

## 第3章

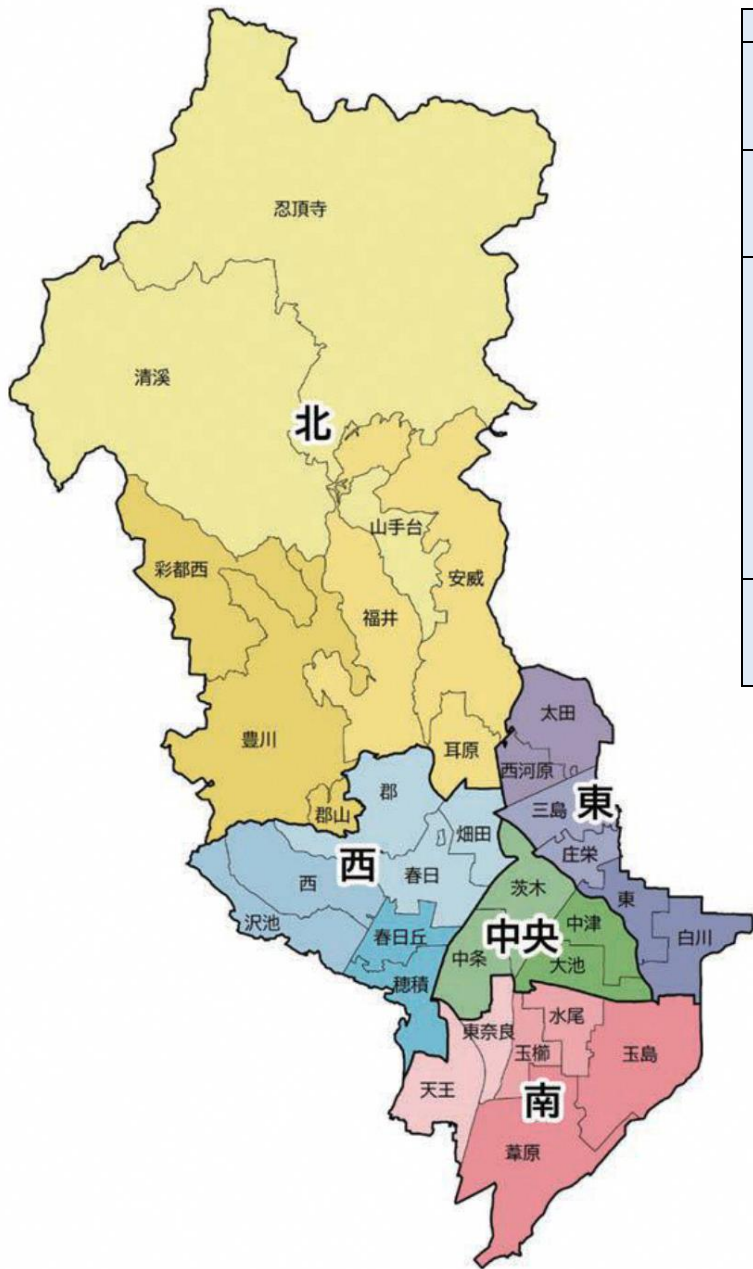
# 地域別構想

# 1 地域づくりの方針

市民と共に創るまちの姿の実現に向けては、市域全体の視点と合わせて、地域単位の多様なニーズや特性に応じたきめ細やかな「地域づくり」の視点が必要であり、今後の方向性を即地的・総合的にわかりやすく示した「地域別構想」を新たに位置づけ、「地域の特性・魅力」「目指す地域のイメージ」「地域づくりの方針」「地域に対する市民の声」「地域づくりの方針図」を示します。なお、地域に対する市民の声については、記載している内容のほか、これまでさまざまな機会を通じて収集したものを含め、これからの地域づくりに活かしていきます。

地域区分については、これまでの都市づくりにおいて基本としてきた地形の特性と立地適正化計画において各種生活利便施設のカバー状況を参照している5圏域を踏まえ、市域を「北部地域」「丘陵地域」「中央地域」「南部地域」の4地域に区分し、中央地域に包含される「中心市街地」においては、本市の都市拠点として、都市機能の誘導と活性化を特に進めていくため、別途区分します。

【参考】第3次総合保健福祉計画による5圏域



■地域区分と対象小学校区の目安

| 地域名称                    | 圏域 | 対象小学校区の目安                         |
|-------------------------|----|-----------------------------------|
| 北部地域                    | 北  | 清溪、忍頂寺、<br>安威（北）                  |
| 丘陵地域                    | 北  | 山手台、安威（南）、<br>福井、耳原、豊川、<br>郡山、彩都西 |
| 中央地域<br>※中心市街地<br>は別途区分 | 東  | 太田、西河原、<br>三島、庄栄、東、<br>白川         |
|                         | 西  | 春日、郡、畑田、<br>沢池、西、春日丘、<br>穂積       |
|                         | 中央 | 茨木、中条、大池、<br>中津                   |
| 南部地域                    | 南  | 天王、東奈良、<br>玉柳、水尾、玉島、<br>葦原        |

※第3次総合保健福祉計画では、市内32の小学校区を、北・東・西・中央・南の5圏域に分けている

■地域区分図



## (1) 北部地域

### ①地域の特性・魅力

自然環境に恵まれ、里地里山と一体となった美しい田園景観を残す北部地域は、農産物の生産やレクリエーション面からも重要な地域であり、地域住民はもとより市民にとっても公益的な資産として、豊かな恩恵をもたらす貴重な空間となっています。

地域内には、「忍頂寺スポーツ公園・竜王山荘」「里山センター」などのレクリエーションの場や、「見山の郷」「キリシタン遺物史料館」などの市内外から買い物や見学に訪れる施設が立地しています。

また、新名神高速道路及び関連都市計画道路の整備や「安威川ダム」及びその周辺整備として「ダムパークいばきた」が整備されるなど、観光も含めたスポーツ・レクリエーション拠点の形成が期待される地域です。

一方、若者の流出や高齢化、人口減少が進行しており、農林業の担い手が少なくなり、荒廃農地が増加しているなど集落を取り巻く環境の変化が顕著になっています。



豊かな自然環境



里地里山



見山の郷

### ②目指す地域のイメージ（は、31～33 ページに示す第1章「暮らしのイメージ」に対応しています）

- ・地域内外の人が関わりながら、里地里山の豊かな資源が大切にされている…………… **イメージ1**
- ・山とまちとの往来をきっかけに、さまざまな活動や交流が生まれている…………… **イメージ2**

### ③地域づくりの方針（は、34～37 ページに示す第1章「都市づくり戦略」に対応しています）

- ・来訪者と地域住民の交流を促進するための拠点づくり…………… **戦略1-1**  
【交流施設（忍頂寺スポーツ公園・竜王山荘、青少年野外活動センター、里山センター、見山の郷）】
- ・既存ストック等の活用に向けた開発許可制度の運用の円滑化・柔軟化…………… **戦略1-1**  
【里地里山ゾーン】
- ・地域資源のネットワーク化による自然と共生する都市づくりの推進（みどりをつなぐ）…………… **戦略1-3**  
【里地里山ゾーン、河川・公園（安威川ダム・安威川等）】
- ・山とまちの移動を支える交通ネットワークの機能充実（みちをつなぐ）…………… **戦略1-3**  
【里地里山ゾーン、山とまちをつなぐ軸】
- ・山とまちのつながりや賑わいを広げる取組の推進（人・活動をつなぐ）…………… **戦略1-3**  
【山とまちをつなぐハブ拠点（ダムパークいばきた）】

### ④地域に対する市民の声（これからの茨木の都市づくりを考えるオープンハウスより）

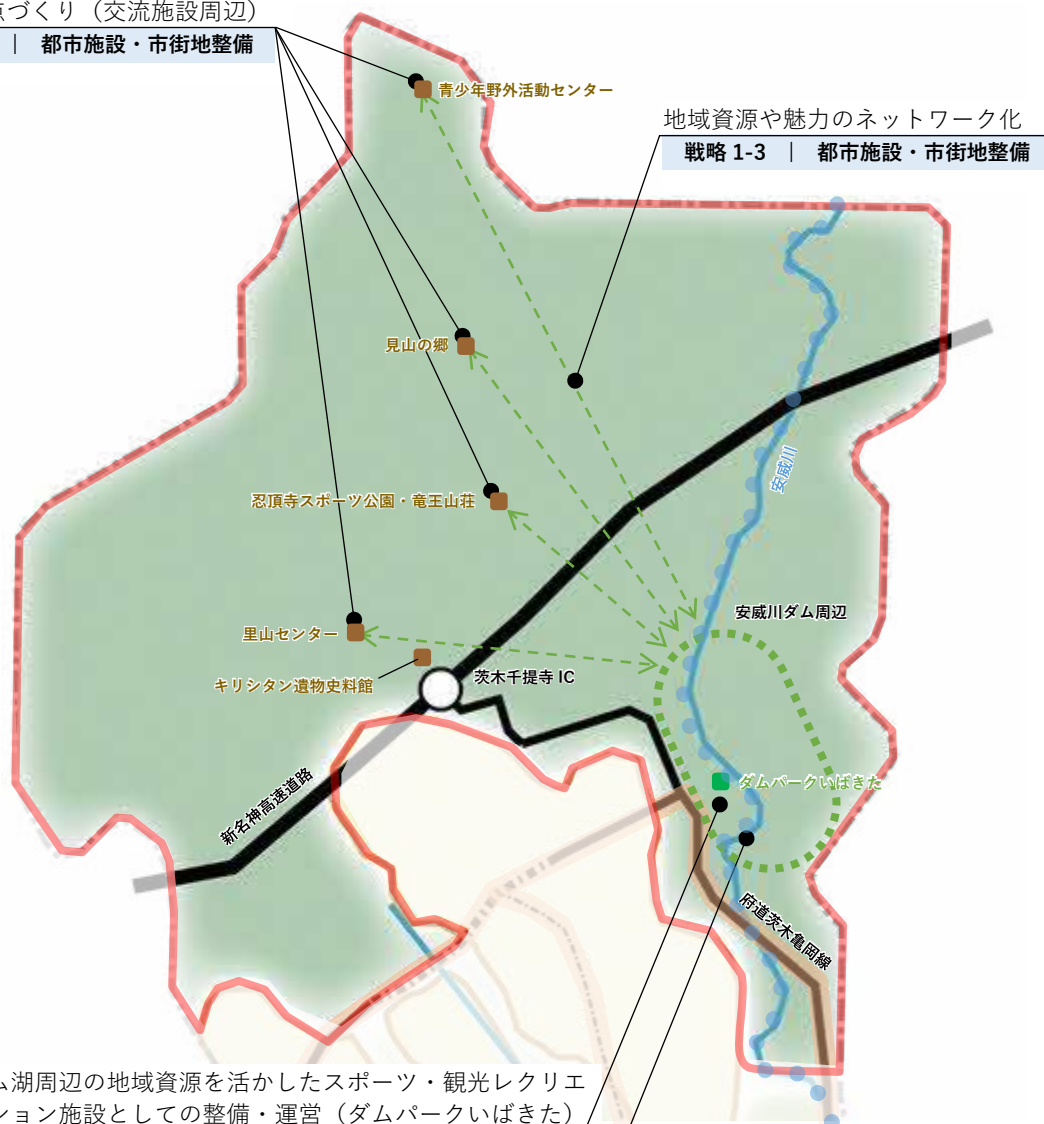
- ・自然が豊富な場所を活かしてほしい（30代・男性、70代・男性）
- ・里山を残してほしい（50代・女性）
- ・ダムパークを使ってもっと魅力的なまちになってほしい（60代・女性）
- ・子どもが遊べる場所の整備に期待（60代・女性）
- ・もっと自然とまちが共存してるまちをみたい（10代・女性）
- ・バスなどによる高齢者の動きやすさを考えてほしい（70代以上・女性） 等

## ⑤地域づくりの方針図

( は、34～37 ページに示す第1章「都市づくり戦略」、44～53 ページに示す第2章「分野別の都市づくりの方針」に対応しています)

来訪者と地域住民の交流を促進する  
ための拠点づくり（交流施設周辺）

戦略 1-1 | 都市施設・市街地整備



地域資源や魅力のネットワーク化

戦略 1-3 | 都市施設・市街地整備

ダム湖周辺の地域資源を活かしたスポーツ・観光レクリエーション施設としての整備・運営（ダムパークいばきた）

戦略 1-3 | 都市施設・市街地整備

みどりの活用検討（安威川ダム・安威川等）

戦略 1-3 | 都市施設・市街地整備 | みどり・都市環境

### 凡 例

（42～43 ページに示す第2章「将来都市構造」に対応しています）

- |                |          |
|----------------|----------|
| ● 里地里山ゾーン      | — 国土幹線道路 |
| ● ● ● みどりの軸    | — 主要幹線道路 |
| — 山とまちをつなぐ軸    | — 河川     |
| ● 山とまちをつなぐハブ拠点 | ■ 公園     |
|                | ■ 交流施設   |

### 《地域全体に係る事項》

空家など既存ストックの活用  
（里地里山ゾーン）

戦略 1-1 | 土地利用 | 居住環境

里地里山の自然環境や集落環境の  
維持・保全（里地里山ゾーン）

土地利用 | みどり・都市環境

景観形成

交通ネットワークの機能充実  
（里地里山ゾーン）

戦略 1-3 | 土地利用 | 交通体系

## (2) 丘陵地域

### ①地域の特性・魅力

丘陵地域は、旧来からの集落や農地などの豊かな自然景観、歴史文化・大学・研究施設などが立地する知的資源・文化資源に恵まれた地域です。

彩都西部地区では、計画的に整備された住宅地やライフサイエンス分野の研究施設などが立地しています。

また、段階的な整備が進められている彩都中部・東部地区では、物流業や製造業などの産業系の施設の立地が進み、社会情勢の変化に対応しつつ、北大阪の発展に寄与することが期待されている地域でもあります。

一方、郊外部の一団の住宅地であるみどり豊かな低層住宅地が広がる山手台地区では、人口減少と高齢化が進みつつあり、暮らしやすさを維持するための予防的な対応が進められています。



彩都西部地区



山手台新町地区

### ②目指す地域のイメージ ( は、31～33 ページに示す第1章「暮らしのイメージ」に対応しています)

- ・生活に必要なものが身近にあり、日常を豊かで便利に過ごすことができる ..... イメージ4
- ・多様な交通手段によるネットワークがあり、地域内外を便利に移動できる ..... イメージ5
- ・多様な人とのつながりがあり、多様なコミュニティが育まれている ..... イメージ6

### ③地域づくりの方針 ( は、34～37 ページに示す第1章「都市づくり戦略」に対応しています)

- ・地域資源のネットワーク化による自然と共生する都市づくりの推進（みどりをつなぐ） ..... 戦略1-3  
【みどり・田園ゾーン、河川・公園（安威川等）】
- ・地域拠点での公共交通軸と連携した拠点機能の維持・充実 ..... 戦略2-1  
【地域拠点（彩都西駅）】
- ・生活拠点での生活機能の維持・充実（暮らしやすさを維持するための予防的対応） ..... 戦略2-1  
【生活拠点（豊川駅、山手台地区、中河原町地区）】
- ・生活圏での暮らしの質の向上 ..... 戦略2-1  
【市街地ゾーン（居住誘導区域）】
- ・拠点間を結ぶ主要ネットワークとなる道路整備の推進と渋滞解消 ..... 戦略2-2  
【山とまちをつなぐ軸（茨木箕面丘陵線、上郡佐保線、山麓線）】
- ・公共交通の利便性向上と生活圏での移動の選択肢の充実 ..... 戦略2-2  
【市街地ゾーン（居住誘導区域）】

### ④地域に対する市民の声（これからの茨木の都市づくりを考えるオープンハウスより）

- ・子育てしやすい活力あるまちづくりをしてほしい（50代・男性）
- ・バスや電車の本数が少なく移動しにくい（30代・男性）
- ・新たな交通システムを考えてほしい（70代以上・男性）
- ・車で行くと渋滞によくあう、移動しやすいまちになってほしい（60代・女性）
- ・近くの公園や広場を自然豊かな場所にして、こどもが遊べる場所になってほしい（20代・女性）
- ・彩都は山並みの景観に配慮した開発をしてほしい（70代以上・男性） 等

## ⑤地域づくりの方針図

( は、34～37 ページに示す第1章「都市づくり戦略」、44～53 ページに示す第2章「分野別の都市づくりの方針」に対応しています)



## 凡例

(42～43 ページに示す第2章「将来都市構造」に対応しています)

- |  |           |  |        |
|--|-----------|--|--------|
|  | みどり・田園ゾーン |  | 国土幹線道路 |
|  | 市街地ゾーン    |  | 主要幹線道路 |
|  | みどりの軸     |  | 地域幹線道路 |
|  | 山とまちをつなぐ軸 |  | 河川     |
|  | 地域拠点      |  | 公園     |
|  | 生活拠点      |  | 大学     |
|  |           |  | 産業集積地  |

## 《地域全体に係る事項》

都市における貴重なみどりの保全  
(みどり・田園ゾーン)

土地利用 | みどり・都市環境 | 景観形成

生活圏での暮らしの質の向上  
(市街地ゾーン・居住誘導区域)

戦略2-1 | 土地利用 | 都市防災

居住環境 | みどり・都市環境 | 景観形成

交通ネットワークの機能充実  
(市街地ゾーン・居住誘導区域)

戦略2-2 | 土地利用 | 交通体系

## (3) 中央地域

### ①地域の特性・魅力

中央地域は、低層・中高層の住宅地や幹線道路沿道における産業集積など多様な機能が立地しており、藍野大学や追手門学院大学など知的・人的資源のほか、元茨木川緑地や西河原公園など自然資源を有している地域です。

また、広域幹線道路である国道 171 号や名神高速道路の茨木インターチェンジが位置し、複数の鉄道やモノレールなど交通利便性が高い地域でもあります。

居住地域には、生活利便施設が徒歩圏におおむね存在し、公共交通網もおおむね網羅しており、暮らしやすい居住環境を形成しています。

太田東芝町地区では、住宅地・商業施設・大学などの複合開発が行われ、地域住民・事業者・大学による地域づくりの取組が進められています。



J R 総持寺駅



西河原公園

### ②目指す地域のイメージ（ は、31～33 ページに示す第1章「暮らしのイメージ」に対応しています）

- ・生活に必要なものが身近にあり、日常を豊かで便利に過ごすことができる ..... **イメージ4**
- ・多様な交通手段によるネットワークがあり、地域内外を便利に移動できる ..... **イメージ5**
- ・多様な人とのつながりがあり、多様なコミュニティが育まれている ..... **イメージ6**

### ③地域づくりの方針（ は、34～37 ページに示す第1章「都市づくり戦略」に対応しています）

- ・地域資源のネットワーク化による自然と共生する都市づくりの推進（みどりをつなぐ） ..... **戦略1-3**  
【みどり・田園ゾーン、河川（安威川等）、公園・緑地（元茨木川緑地、西河原公園）】
- ・地域拠点での公共交通軸と連携した拠点機能の維持・充実 ..... **戦略2-1**  
【地域拠点（J R・阪急総持寺駅及び周辺地区、阪大病院前駅）】
- ・生活拠点での生活機能の維持・充実（暮らしやすさを維持するための予防的対応） ..... **戦略2-1**  
【生活拠点（宇野辺駅、鮎川地区、太田東芝町地区）】
- ・生活圏での暮らしの質の向上 ..... **戦略2-1**  
【市街地ゾーン（居住誘導区域）】
- ・拠点間を結ぶ主要ネットワークとなる道路整備の推進と渋滞解消 ..... **戦略2-2**  
【山とまちをつなぐ軸（茨木寝屋川線、駅前太中線）、国道 171 号（西河原交差点）】
- ・公共交通の利便性向上と生活圏での移動の選択肢の充実 ..... **戦略2-2**  
【市街地ゾーン（居住誘導区域）】

### ④地域に対する市民の声（これからの茨木の都市づくりを考えるオープンハウスより）

- ・商業施設を増やして賑わいを生んでほしい（40代・男性）
- ・安威川沿いが走りにくい（ジョギング・自転車）（50代・男性）
- ・自転車がなくて道が通りにくい（30代・女性）
- ・河川氾濫が心配、災害に強いまちになってほしい（20代・男性）
- ・道路が狭く車椅子で移動している人が大変そう（10代・女性）
- ・バスなどの公共交通の便が悪い（60代・女性） 等

## ⑤地域づくりの方針図

( ) は、34～37 ページに示す第1章「都市づくり戦略」、44～53 ページに示す第2章「分野別の都市づくりの方針」に対応しています)



### 凡 例

(42～43 ページに示す第2章「将来都市構造」に対応しています)

- |  |           |  |        |
|--|-----------|--|--------|
|  | みどり・田園ゾーン |  | 国土幹線道路 |
|  | 市街地ゾーン    |  | 主要幹線道路 |
|  | みどりの軸     |  | 地域幹線道路 |
|  | 山とまちをつなぐ軸 |  | 河川     |
|  | 都市拠点      |  | 公園・緑地  |
|  | 地域拠点      |  | 大学     |
|  | 生活拠点      |  | 産業集積地  |

### 《地域全体に係る事項》

都市における貴重なみどりの保全  
(みどり・田園ゾーン)

土地利用 | みどり・都市環境 | 景観形成

生活圏での暮らしの質の向上  
(市街地ゾーン・居住誘導区域)

戦略 2-1 | 土地利用 | 都市防災

居住環境 | みどり・都市環境 | 景観形成

交通ネットワークの機能充実  
(市街地ゾーン・居住誘導区域)

戦略 2-2 | 土地利用 | 交通体系

## (4) 南部地域

### ①地域の特性・魅力

南部地域は、旧来からの集落や土地区画整理事業・大規模開発などで形成された住宅地のほか、幹線道路沿道に立地する産業集積地からなる地域です。

また、安威川や元茨木川緑地、市街化調整区域の農地など、自然資源を有しており、広域幹線道路や鉄道、モノレールのほか広域圏を対象とした北大阪流通センターなどが立地する、広域的な交通の要衝となる地域でもあります。

土地区画整理事業により整備された南目垣・東野々宮地区の「イコクルいばらき」では、商業施設や物流施設の進出を核とした南部地域の新たな生活拠点として、賑わいと活力あるまちづくりが進められています。



北大阪流通センター



イコクルいばらき

### ②目指す地域のイメージ（ は、31～33 ページに示す第1章「暮らしのイメージ」に対応しています）

- |                                          |       |
|------------------------------------------|-------|
| ・生活に必要なものが身近にあり、日常を豊かで便利に過ごすことができる ..... | イメージ4 |
| ・多様な交通手段によるネットワークがあり、地域内外を便利に移動できる ..... | イメージ5 |
| ・多様な人とのつながりがあり、多様なコミュニティが育まれている .....    | イメージ6 |

### ③地域づくりの方針（ は、34～37 ページに示す第1章「都市づくり戦略」に対応しています）

- |                                                |       |
|------------------------------------------------|-------|
| ・地域資源のネットワーク化による自然と共生する都市づくりの推進（みどりをつなぐ） ..... | 戦略1-3 |
| 【みどり・田園ゾーン、河川（安威川等）、公園・緑地（元茨木川緑地）】             |       |
| ・地域拠点での公共交通軸と連携した拠点機能の維持・充実 .....              | 戦略2-1 |
| 【地域拠点（南茨木駅）】                                   |       |
| ・生活拠点での生活機能の維持・充実（暮らしやすさを維持するための予防的対応） .....   | 戦略2-1 |
| 【生活拠点（沢良宜駅、真砂地区、イコクルいばらき）】                     |       |
| ・生活圏での暮らしの質の向上 .....                           | 戦略2-1 |
| 【市街地ゾーン（居住誘導区域）】                               |       |
| ・拠点間を結ぶ主要ネットワークとなる道路整備の推進と渋滞解消 .....           | 戦略2-2 |
| 【駅前太中線、阪急南茨木駅平田線】                              |       |
| ・公共交通の利便性向上と生活圏での移動の選択肢の充実 .....               | 戦略2-2 |
| 【市街地ゾーン（居住誘導区域）】                               |       |

### ④地域に対する市民の声（これからの茨木の都市づくりを考えるオープンハウスより）

- ・人が集まる魅力的な整備が大切（30代・男性）
- ・バスの交通の便が悪く移動しにくい（60代・女性）
- ・高齢者が多く、災害時に対応できる安全・安心なまちづくりが必要（60代・女性）
- ・南茨木駅周辺に公園などの人が賑わう場所がほしい（40代・男性）
- ・高齢者にも優しいまちになってほしい（30代・男性）
- ・地域住民が快適となるような住環境の向上が重要（50代・男性） 等

## ⑤地域づくりの方針図

( は、34～37 ページに示す第1章「都市づくり戦略」、44～53 ページに示す第2章「分野別の都市づくりの方針」に対応しています)



### 凡 例

(42～43 ページに示す第2章「将来都市構造」に対応しています)

- |  |           |  |        |
|--|-----------|--|--------|
|  | みどり・田園ゾーン |  | 国土幹線道路 |
|  | 市街地ゾーン    |  | 主要幹線道路 |
|  | みどりの軸     |  | 地域幹線道路 |
|  | 山とまちをつなぐ軸 |  | 河川     |
|  | 地域拠点      |  | 公園・緑地  |
|  | 生活拠点      |  | 産業集積地  |

### 《地域全体に係る事項》

都市における貴重なみどりの保全  
(みどり・田園ゾーン)

土地利用 | みどり・都市環境 | 景観形成

生活圏での暮らしの質の向上  
(市街地ゾーン・居住誘導区域)

戦略 2-1 | 土地利用 | 都市防災

居住環境 | みどり・都市環境 | 景観形成

交通ネットワークの機能充実  
(市街地ゾーン・居住誘導区域)

戦略 2-2 | 土地利用 | 交通体系

(5) 中心市街地

①地域の特性・魅力

中心市街地には、人々が集まり、広域的な交通アクセスを担うＪＲ茨木駅と阪急茨木市駅（２コア）が東西に位置しています。両駅前の西口では駅前ビルなどの老朽化が進み、再整備に向けた取組が進められています。

その両駅間をつなぐ中央通り・東西通りの東西軸（モール）の中間地点には、みどりが集積した中央公園など（パーク）があります。元茨木川緑地は全長５kmの緑地帯で、散歩や花見などが楽しめる市民の安らぎの空間となっており、文化・子育て複合施設「おにクル」は多様な機能が組み合わされた施設で、さまざまな活動が創出される新たなシンボルとなっています。

また、立命館大学大阪いばらきキャンパスと岩倉公園（防災公園）が一体的に整備され、新棟が建設されるなど、学生や親子連れで賑わっています。

この「２コア１パーク＆モール」の都市構造を活かした、ひと中心の居心地が良いまちなかづくりに向け、多様な主体による活動の創出を進めています。



文化・子育て複合施設「おにクル」



ＪＲ茨木駅東口  
（いばらきスカイバレット）



立命館大学大阪いばらきキャンパス  
と岩倉公園

②目指す地域のイメージ（ は、31～33 ページに示す第１章「暮らしのイメージ」に対応しています）

- ・山とまちとの往来をきっかけに、さまざまな活動や交流が生まれている ..... イメージ２
- ・茨木らしいまちの楽しみ方や使い方ができ、思い思いに過ごすことができる ..... イメージ３

③地域づくりの方針（ は、34～37 ページに示す第１章「都市づくり戦略」に対応しています）

- ・２コア１パーク＆モールの都市構造を活かした、ひと中心のまちなかづくり ..... 戦略１－２  
【市街地ゾーン（都市機能誘導区域）】
- ・駅前ならではの質の高い都市機能の誘導（２コア） ..... 戦略１－２  
【都市拠点（ＪＲ茨木駅、阪急茨木市駅）】
- ・既存ストックや公共空間活用による魅力ある都市空間の創出（１パーク） ..... 戦略１－２  
【都市拠点（中央公園、元茨木川緑地、おにクル、市道市役所前線）】
- ・２つのコアを結ぶ歩きやすく、歩きたくなる空間デザインのストリーートの創出（モール） ..... 戦略１－２  
【ひと中心の賑わい軸（中央通り、東西通り）】
- ・山とまちのつながりや賑わいを広げる取組の推進（人・活動をつなぐ） ..... 戦略１－３  
【都市拠点（おにクル）】

④地域に対する市民の声（これからの茨木の都市づくりを考えるオープンハウスより）

- ・休憩できる場所やカフェを増やして賑わいを生んでほしい（50代・女性）
- ・買い物ついでに病院に行きたい（70代以上・男性）
- ・人が多く集まる場所なので防災拠点が必要（40代・女性）
- ・道路沿いなどにみどりを増やしてほしい（70代以上・女性）
- ・歩きやすい道になってくれたらと思う（20代・女性）
- ・駅間（ＪＲと阪急）を行きやすくしてほしい（60代・男性） 等

